

○7番（石川和久君） 議席番号7番、さんむ21、石川でございます。議長にお許しをいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

6月定例会は、令和元年、最初の定例会であり、議会改選後、初の定例会でございます。市民の皆様にも再度御負託をいただき、またこの場所に立てることができました。新たな気持ちで、しっかりと市民の皆様の期待に応えられるように、4年間、頑張ってまいりたいと思います。議員の皆様、執行部の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

それでは、質問に入ります。はじめに、財政運営についてお伺いします。財政課長のほうが、県のほうからお越しいただきまして、お言葉をいただこうかなと思いましたが、先ほど能勢議員のほうからお話がありまして、お言葉をいただきましたので、しっかりとその気持ちを私も確認させていただきましたので、質問に入りたいと思います。

昨年の9月議会でも質問をしたところですが、山武市の今後の財政運営を考えると、人口減少による市税の減少、普通交付税における合併算定替特例の終了や少子高齢化による扶助費の増加など、大変厳しい環境下にあると思われます。

このような中、令和元年度一般会計当初予算額は、平成30年度当初予算額と比べて17億4,200万円増加し、229億6,000万円となりました。これは、合併以降、最大の予算規模ということですが、お隣の東金市の令和元年度予算額183億9,000万円と比べても、45億7,000万円多いということになります。山武市は、予算は随分多いが大丈夫かと、市民の方々の不安の声も聞こえてきます。私も、山武市合併から14年が経過し、なかなか予算規模が削減できない状況を懸念しております。

そこで、今年度予算が、合併以降、最大の予算規模となった要因は何かお伺いします。

○議長（大川義男君） 総務部長。

○総務部長（石橋和記君） 令和元年度の一般会計当初予算額の増は、閉校後の豊岡小学校を改修するまつおこども園移転整備事業に、4億3,000万円、さんぶの森中央会館及び敷地内施設を改修するさんぶの森中央会館等施設改修事業に、1億9,000万円、さんぶの森文化ホールのつり天井の耐震化を行うさんぶの森文化ホール非構造部材耐震等改修事業に、2億円、環境改善センターの多目的ホールのつり天井の耐震化などを行う環境改善センター施設改修事業に、2億3,000万円など、大規模事業の実施の予定が重なったことが、最大の要因と考えております。

いずれの事業も、令和元年度に実施することで、有利な財源も確保できることから、実施すべきと判断したものでございます。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） さまざまな事業が重なり、事情はわかりました。同じ年度に大規模な事業を実施しなければならないということが原因であれば、多少の規模の増加もやむを得ないことだと思います。

そういった事情であれば、令和元年度の一般会計の予算増は、大規模事業実施の重複による一時的なもので、これから来年度の予算額は減少すると思われますが、見込みはどうかをお伺いします。

○議長（大川義男君） 総務部長。

○総務部長（石橋和記君） 本年の1月に開催されました、議会全員協議会でお示しをいたしました長期財政計画では、令和2年度は、松尾小学校の校舎の改築を行う松尾小学校新校舎整備事業で、11億円、閉校後の山武南中学校を改修する日向・山武西統合小学校校舎等改修事業で、4億円、松尾IT保健福祉センターの屋上鉄骨部を改修する松尾IT保健福祉センター施設等改修事業で、2億2,000万円等の予算を見込んでおります。

来年度予算につきましては、これらの要因によりまして、今年度より、さらに予算額が増額となる予定となっております。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 毎年度、市内の何らかの施設で、整備工事や改修工事があり、それに多額の支出を要するということであれば、これからはなかなか予算規模が減らないのではないのか。そのような懸念をさらに覚えますが、今後の施設関係の大規模事業の予定は、どうなっているかをお伺いします。

○議長（大川義男君） 財政課長。

○財政課長（宮負裕行君） 今年度、山武市公共施設等総合管理計画が対象とする市内の各公共施設の実情等を踏まえまして、維持管理や更新等の実施方法や時期などを定める山武市公共施設個別施設計画の策定を予定しております。

計画の中で、各公共施設の修繕及び改修等にかかる経費の見込みについても、明らかにする予定でございます。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 公共施設個別施設計画は、今後の施設の維持管理、また、市の今後の財政状況に影響する重要な計画だと思いますので、慎重に策定いただきたいと思います。

それでは、今年1月の議会全員協議会で、さんむ医療センターの建替整備を踏まえた長期財政計画が示されましたが、その後、5カ月が経過しました。さらに、5月1日からは、元号も令和に改まり、その後の状況はどうでしょう。

また、計画の策定から期間が経過すると、市の財政を取り巻く状況も変わってくると思いますが、見直しはどういったタイミングで行うのかを伺います。

○議長（大川義男君） 財政課長。

○財政課長（宮負裕行君） 現在のところ、長期財政計画の見直しが必要となるような大きな状況の変化はございません。

見直しのタイミングにつきましては、法改正等による大幅な制度改正や多額の出費を伴う大型事業・大規模事業の実施計画が示されたときなど、後年度の財政状況に大きく影響を与える事象が発生した場合におきまして、計画の見直しが必要になるものと考えてございます。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 先ほどの答弁にもございました、毎年度、さまざまな施設で、整備工事や大規模改修工事などが予定されるということですのでけれども、現在示されている長期財政計画では、どの程度を見込んでいるのかをお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 財政課長。

○財政課長（宮負裕行君） 現在の長期財政計画を策定する際に、既に計画されていた事業については、全て計上してございます。

また、山武市公共施設個別施設計画の策定後、その内容を長期財政計画に反映させまして、見直した結果につきまして、再度お示ししたいと考えてございます。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） わかりました。

公共施設個別施設計画を反映させた、先ほど答弁いただきました長期財政計画については、でき次第、早急にお示しをいただきたいと思います。

先ほどの質問に関連しまして、施設の大規模改修に、毎年度、多額の支出が見込まれるということですが、十分な財源の確保はできるのかが心配になっております。

そこで、山武市の平成30年度末の基金残高はどのくらいかをお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 財政課長。

○財政課長（宮負裕行君） 平成30年度末の定額運用基金を除く一般会計の基金の残高ですが、合計で172億円ほどございます。

うち、財政調整基金は58億円ほど、その他、減債基金等の特定目的基金は114億円ほどの残高がございます。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 172億円ということですのでけれども、基金については、172億円あるということで、合併以降積み立ててきた基金だと思われます。その基金は、今まで適正に積み立てられ、有効な活用ができていますのかどうかをお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 総務部長。

○総務部長（石橋和記君） 基金につきましては、合併以降、基金の設置の趣旨に基づいて、計画的に積み立て、活用してまいりました。今後も基金の設置目的に沿った活用を図り、安定的な財政運営を行っていきたいと考えております。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） それでは、今までの答弁を踏まえまして、今後の財政状況の見通しについて、市長の考えはどうかをお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 市長、御登壇願います。

○市長（松下浩明君） 石川議員の財政運営についてということで、お答えをさせていただきます。

令和元年度の一般会計当初予算額229億6,000万円につきましては、合併以降、最大の予算規模というようになっております。

来年度も、松尾小学校新校舎整備事業など、必要な事業は実施をしたいと考えておりますけれども、将来的に市税や普通交付税の減額が想定されていることから、今後は、歳出を抑えていきたいと考えております。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 今、市長のほうから、来年度以降、歳出を抑えていきたいというような答弁をいただきました。ぜひ、市長の強いリーダーシップの下、財政の引き締めに力を入れていただけると確信しております。

それでは、適正な予算規模とするために、具体的にどのような方策を考えているのでしょうか。お伺いいたします。

○議長（大川義男君） 市長。

○市長（松下浩明君） 費用対効果の低い事業の見直しについては、無論でございますけれども、山武市公共施設個別施設計画の策定において、市内公共施設の統廃合も含めた効率的な活用方法について検討して、歳出の抑制に努めていきたいというように考えております。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） ありがとうございます。市長から、市内公共施設の統廃合も含めた効率的な活用というお言葉がありましたけれども、山武市には、合併ならではの弊害といえますか、多くの施設が市内に存在しております。利用者の意見も聞きながら、時には厳しい判断もあると思いますけれども、施設のあり方をしっかりと検討していただきまして、健全な財政運営に引き続き取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、施設の有効活用について伺います。先ほどお話ししましたように、市内には多くの施設が存在しております。山武市公共施設等総合管理計画では、本市が所有する平成28年3月現在、建築物の総延べ床面積ですと、20万2,732.4平方メートルであり、市民1人当たりの公共施設の延べ床面積を換算すると、約3.88平方メートルとなります。

この数字は、全国平均値の1.2倍になります。現在の公共施設を保有し続ける場合の必要コストを試算した場合、必要コストで65億円、さらにその先10年で104億円まで膨れ上がる

ことが推計されております。施設のあり方が、今後の財政運営に大きく影響することは、皆さんも既に認識されていることと思います。

今定例会では、保育所、幼稚園の条例の一部を改正する条例の制定が上程されましたが、豊岡保育所、蓮沼幼稚園、むつみのおか幼稚園の今後の利活用が気になるところでございます。

前提といたしまして、この有効活用については、行政のみによる検討ではなく、地域との協議も踏まえての有効な活用方法を見出すことが大切であるということは、前置きした上でございます。

今回、そういう中、子育て支援施設の活用状況と今後について伺います。今定例会で、全員協議会等でも御説明がありまして、さまざまな意見がありましたけれども、確認も踏まえまして、質問をさせていただきます。

現在休園中にある保育所の状況は、どうなっているのかをお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 保健福祉部長。

○保健福祉部長（小川雅弘君） 現在休園中の保育所は、豊岡保育所、1園で、平成23年4月から休園しており、電気、水道等のライフラインも停止しております。主に消防防災課等の備品等の保管場所として利用しているところでございます。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 豊岡保育所の今後の活用方法についてお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 保健福祉部長。

○保健福祉部長（小川雅弘君） 現在の利用状況から、今後、保健福祉部から総務部へ所管替えの手続きを行い、防災用倉庫もしくは消防用倉庫として、今後も活用する方向でおります。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 幼稚園の現在の状況はどうなっているのかをお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 保健福祉部長。

○保健福祉部長（小川雅弘君） 現在休園中の幼稚園は、蓮沼幼稚園とむつみのおか幼稚園の2園でございます。

蓮沼幼稚園は、平成21年4月から休園しており、電気、水道等のライフラインも停止しております。現在は、主に教育委員会の文書や民具等の保管場所として利用しております。

むつみのおか幼稚園については、今年4月から休園となり、現在は使用しておりませんが、電気、水道等のライフラインは、そのままの状況でございます。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 各幼稚園の今後の活用方法についてお伺いいたします。

○議長（大川義男君） 保健福祉部長。

○保健福祉部長（小川雅弘君） 蓮沼幼稚園に現在保管してある文書等は、移動する予定でございまして、今後も市として、建物の有効活用が見込めないため、売却等の処分を考えております。

むつみのおか幼稚園につきましては、民間事業者から、地域の子育て世帯が利用できます子育て支援センター等、親子の遊び場、保護者の相談場所として活用したい旨、提案がございました。今後、民間事業者と、有効活用について調整してまいりたいと考えております。

○議長（大川義男君） 石川議員。

○7番（石川和久君） ありがとうございます。御答弁ですと、豊岡保育所が、そのまま消防防災課等の備品等の保管場所ということと、幼稚園では、蓮沼幼稚園については、活用が見込めなければ、売却等の処分を考えている。むつみのおか幼稚園については、民間事業者と検討中ということですね。ありがとうございます。

今回、何をお話したかったといいますと、豊岡保育所についても、平成23年4月から休園していると聞いております。8年経過しております。

蓮沼幼稚園にしても、平成21年4月から休園しておりまして、約10年が経過しているわけでございます。こういった中、地域住民の理解を得ながら、当然、これは大変デリケートな問題ということは、私もよくわかっておりますが、もう少し早く取り組むこともできたのかなということが、私の中でございました。

その中で、現在、豊岡保育所については、先ほども御答弁をいただきましたように、消防防災課等の倉庫ということですが、やはり、園庭などにも雑草が生えますし、建物の維持管理もあったことだと思います。蓮沼幼稚園もそうですけれども、もう少し早い段階で取り組んでいけば、ほかの活用方法があったのではないのかなということが、私の中で疑問にありました。

そのような中、これから私が懸念していることは、学校施設の問題でございます。山武市公共施設等総合管理計画では、全公共施設に対して、施設種別の床面積の割合は、学校施設が57.7%、全体の半分以上を占めているわけでございます。既に学校統合実施計画も、場所によっては始まっております。これから廃校になった学校の利活用の検討が課題になるのではないのでしょうか。

先ほどもお話ししましたが、時には厳しい判断に迫られることもあることと思います。しかし、跡地利用について、どのような方針で進めていくのかを具体的に示していくことも、これから必要だと私は考えております。

ぜひ、今回の施設の活用状況をいろいろと教訓にさせていただいて、何年も、5年、10年と経たないように、これからの学校施設の利活用に結んでいただきたいということが、今回お話をさせていただいたかったことでございます。

全協等でさまざまな意見もありましたので、これから豊岡保育所等のさらにどのような活用方法が出てくるのか、いろいろと私も見させていただきますので、これからも先ほどお話ししたとおり、学校施設の利活用にぜひつながっていただきたいと思います。

これで、私の一般質問は終わりにさせていただきます。